

NTT DATA

移行するならHinemos！  
～移行サービスと移行ツールのご紹介～



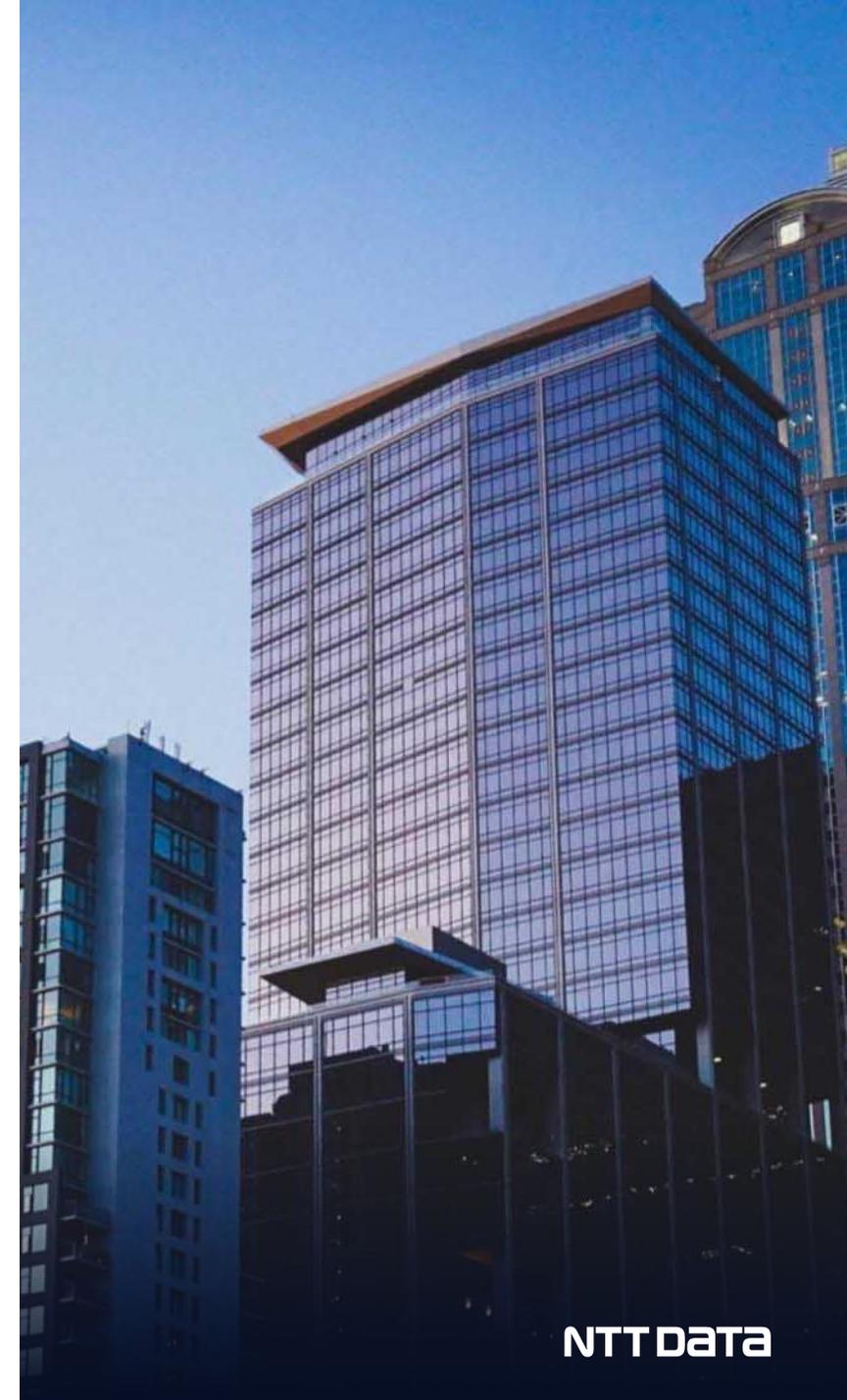
Hinemos

NTTデータ先端技術株式会社

© 2024 NTT DATA INTELLILINK Corporation

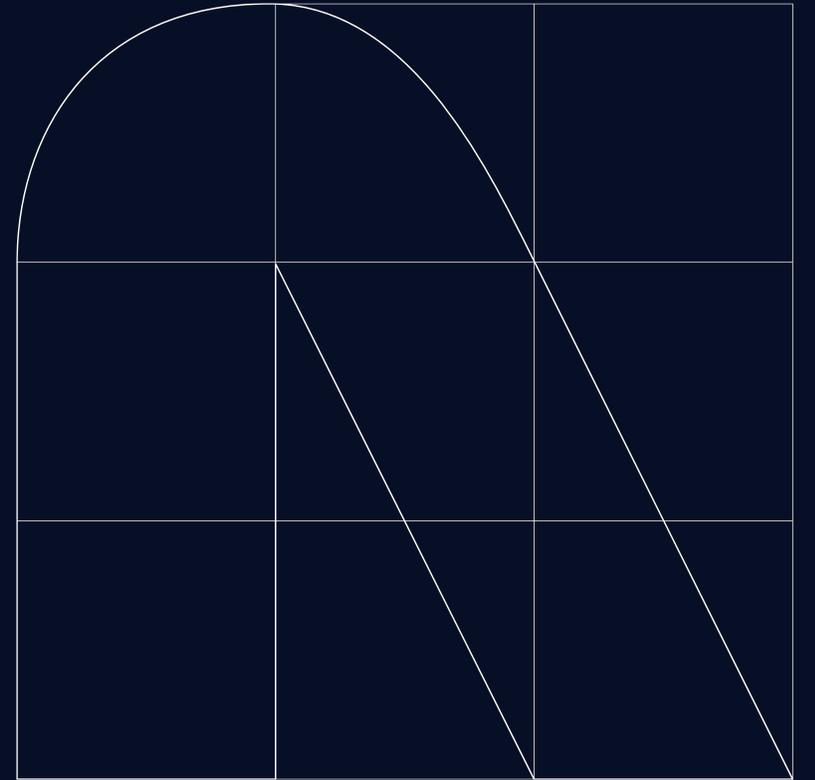
# 目次

1. 背景
2. 他製品からの移行サービス
3. Hinemos Migration Assistant（他製品からの移行支援ツール）
4. まとめ



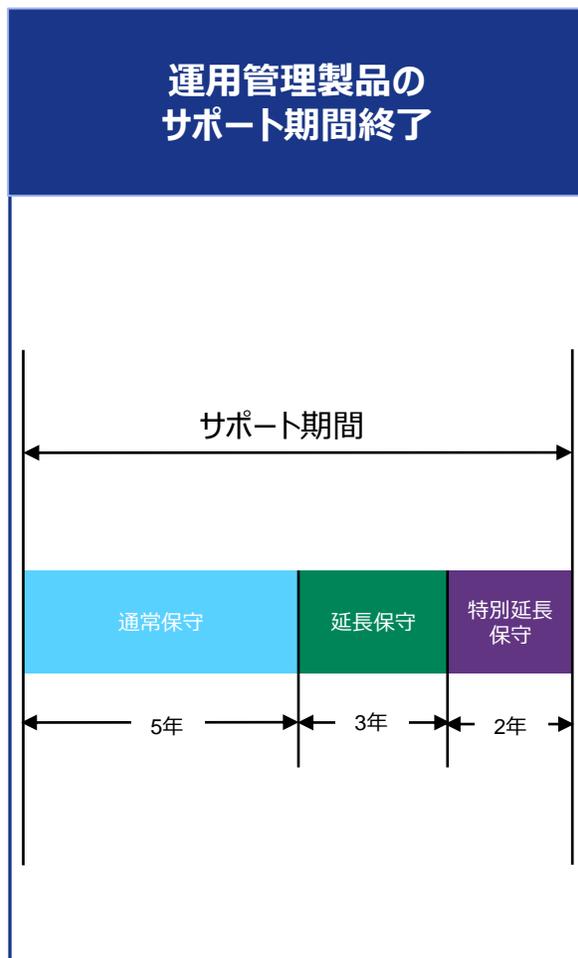
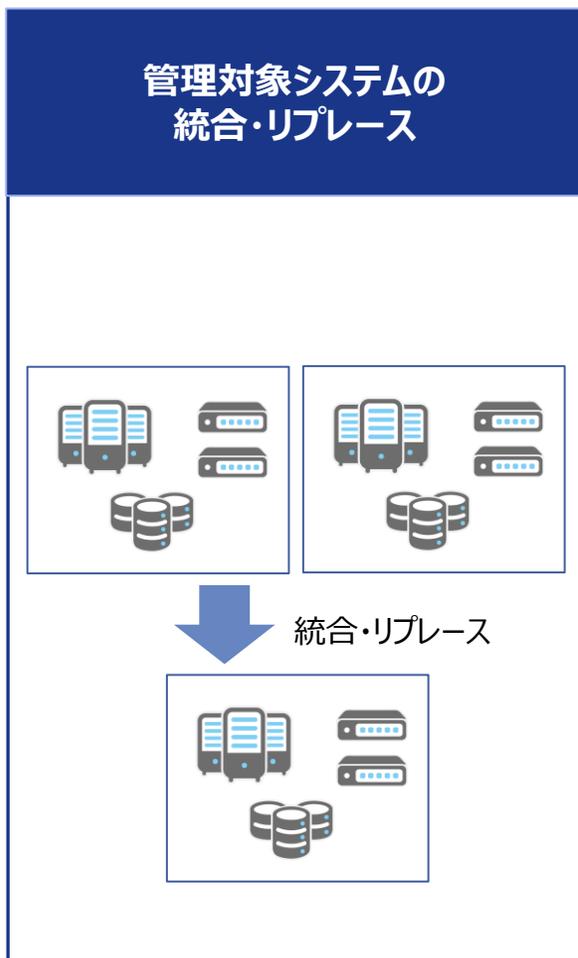
# 01

## 背景



# 運用管理製品の見直しタイミング

運用管理製品の見直しは、計画的なものだけでなく様々なタイミングで必要となる



# 製品見直しにおける4つの課題

製品見直し時には、4点のよくある課題の検討が必要

<b>①ライセンス体系</b>	製品のライセンス費用が高額で、運用費用削減が図れない 動的・柔軟な構成変更に対応しない
<b>②技術要件</b>	ジョブ管理要件まで満たせる製品の選択肢がない クラウド移行に際し、クラウド環境上で動作要件・冗長化要件を満たせる製品がない
<b>③運用要件</b>	利用するツールが増えてしまい、運用管理の一元化が図れない 運用管理の冗長化に際し、問題発生時のオペレーションや対応作業が複雑化してしまう
<b>④移行コスト</b>	既に存在するジョブ定義の資産が活用できないと、ジョブの再開発コストがかかる 既存踏襲を踏まえた運用移行設計とそれを扱う運用者の育成が難しい

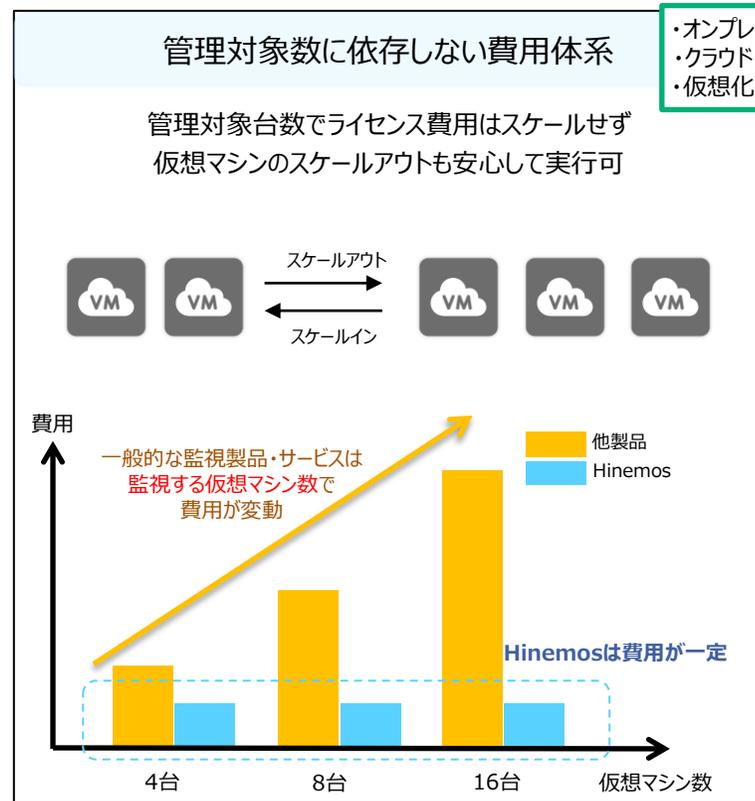
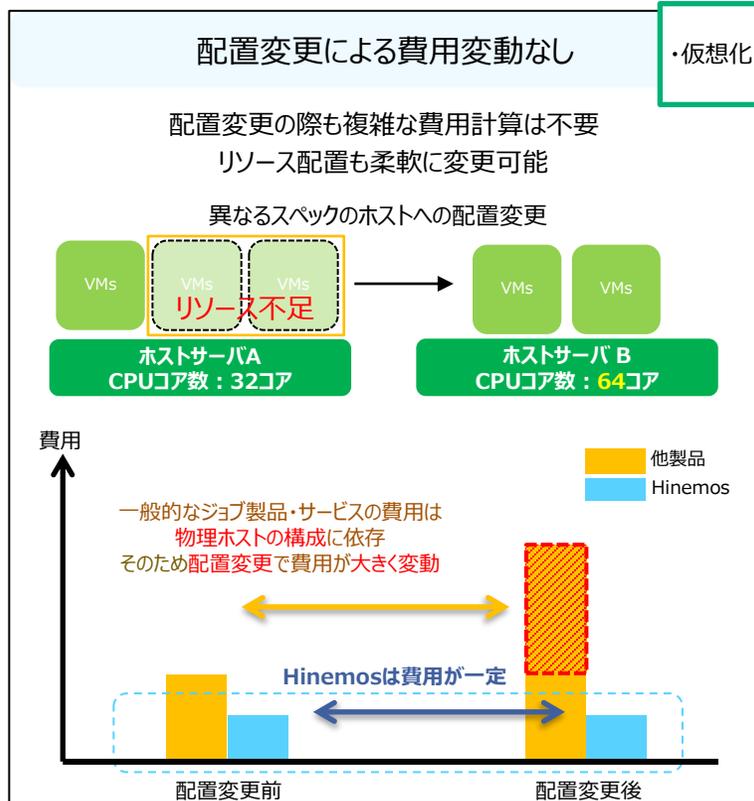
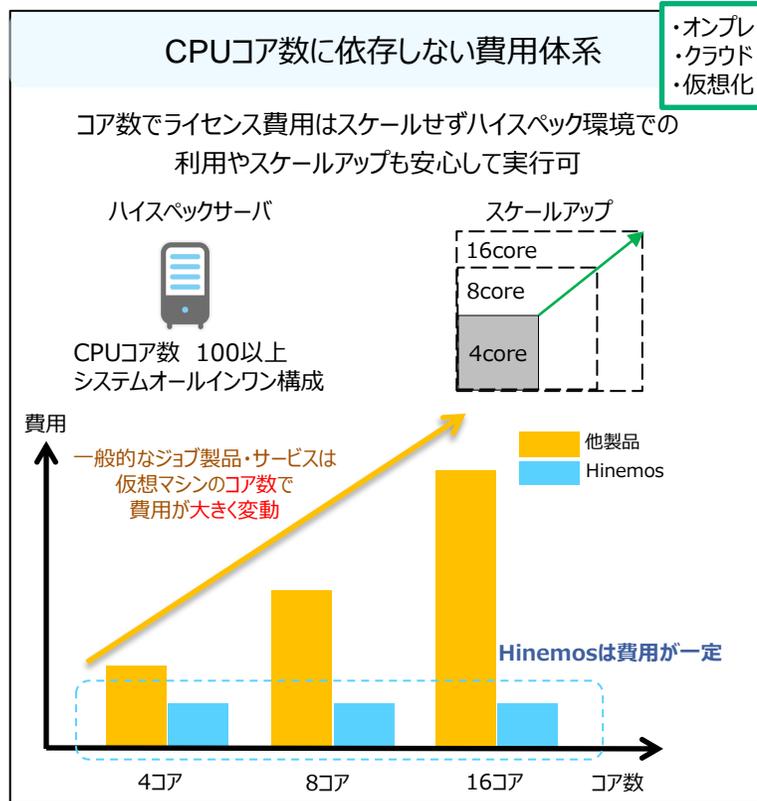
# ① ライセンス体系の課題に対するHinemosの解

## ライセンス体系

製品のライセンス費用が高額で、運用費用削減が図れない

動的・柔軟な構成変更に対応しない

## CPUコア数・管理対象数に依存しないシンプルな費用体系



製品導入後のリソース拡張も、スケールアップ・スケールアウトも安心して実施

## ② 技術要件の課題に対するHinemosの解

### 技術要件

ジョブ管理要件まで満たせる製品の選択肢がない

クラウド移行に際し、クラウド環境上で動作要件・冗長化要件を満たせる製品がない

### クラウド環境を動作環境として対応し、可用性構成も組めるジョブ管理製品

#### 代表的なジョブ管理製品の機能網羅



即時(手動)実行



スケジュール実行



ファイルチェック実行



ファイル転送ジョブ



ジョブ連携送信ジョブ, ジョブ連携待機ジョブ など

ジョブ機能について他社製品と比較しても十分に機能を網羅

#### クラウド対応（動作環境・冗長化）



AWS



Azure

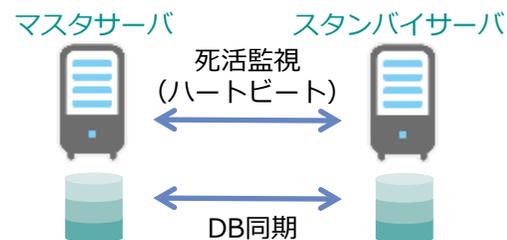


Google Cloud



OCI

多くのパブリッククラウドに対応



マルチプラットフォーム対応のクラスタ機能

迅速性、柔軟性 拡張性	クラウドの 組み合わせ
PaaS/SaaS	従量課金制

クラウドの特徴に対応した専用機能

数の少ないジョブ管理機能分野の製品において、クラウド対応の先駆者として要件に対応

### ③運用要件の課題に対するHinemosの解

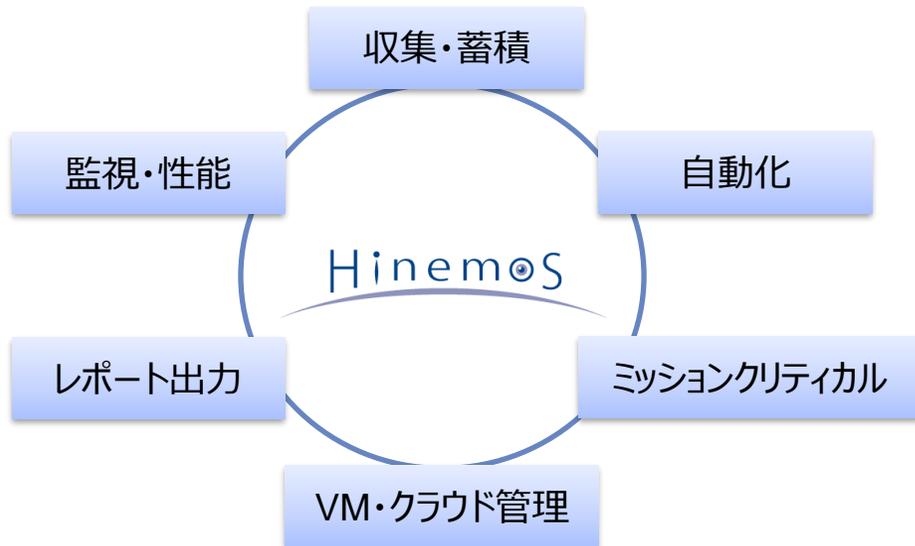
運用要件

利用するツールが増えてしまい、運用管理の一元化が図れない

運用管理の冗長化に際し、問題発生時のオペレーションや対応作業が複雑化してしまう

監視やジョブを含めた統合運用管理の基本機能を、ワンパッケージで提供

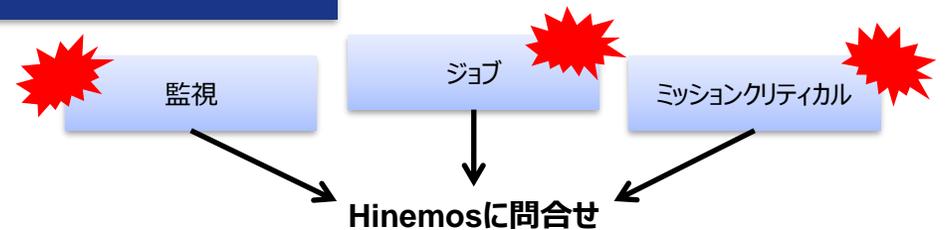
簡易なセットアップ



統一的なインターフェース



ワンストップ保守



今まで以上のシンプルな運用管理を提供

## ④ 移行コストの課題に対するHinemosの解

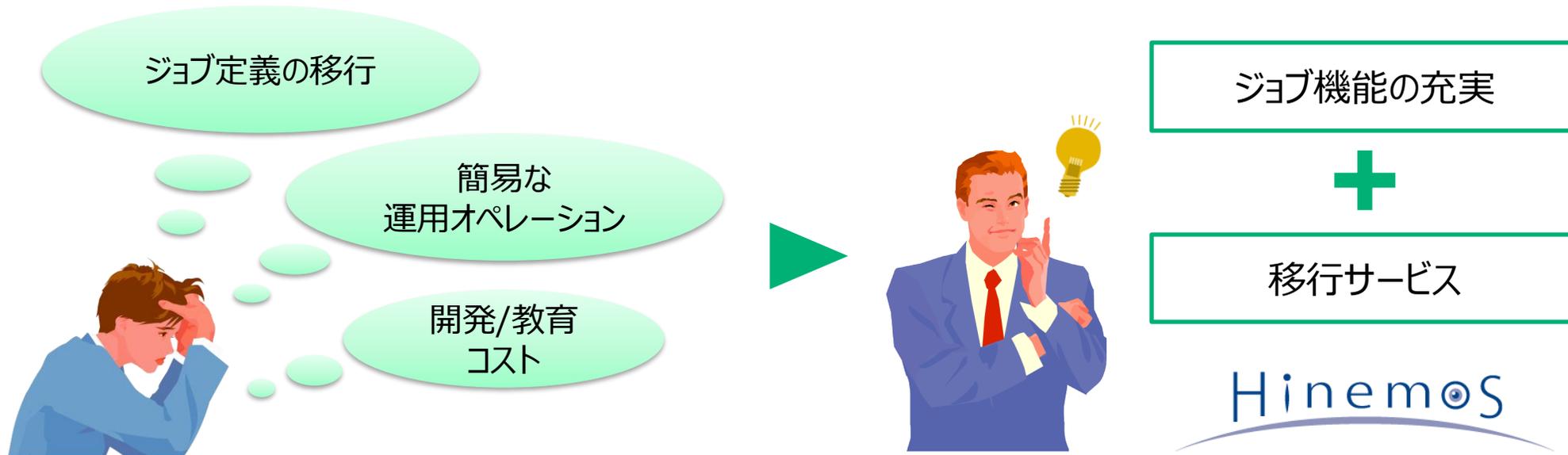
移行コスト

既に存在するジョブ定義の資産が活用できないと、ジョブの再開発コストがかかる

既存踏襲の運用が出来るような運用者の育成が難しい



移行に関する機能の充実と共に、移行サービスを提供



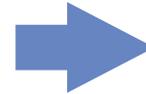
ジョブ定義と運用オペレーションの移行を、低コストで実現

# 5年間のコスト試算によるHinemosの優位性

## ライセンス費用・移行サービス適用による移行コストの試算

**他社運用管理製品**  
コスト試算（例）

初期ライセンス費用：1500～2000万円  
保守費用：数百万円×4年間  
**5年間総額：3000～4000万円**



**Hinemos**  
コスト試算（例）



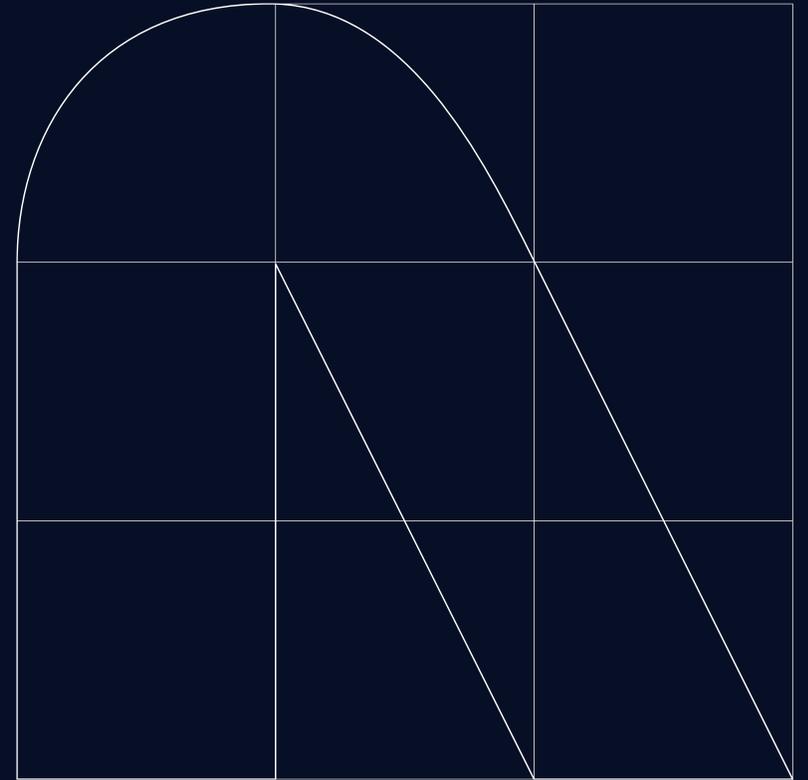
初期移行費用：250万円～  
保守費用：88万円～×5年間  
**5年間総額：690～1x00万円**



ライセンスコスト + 移行コストを合わせても、5年間トータルで十分なコスト削減を達成可能

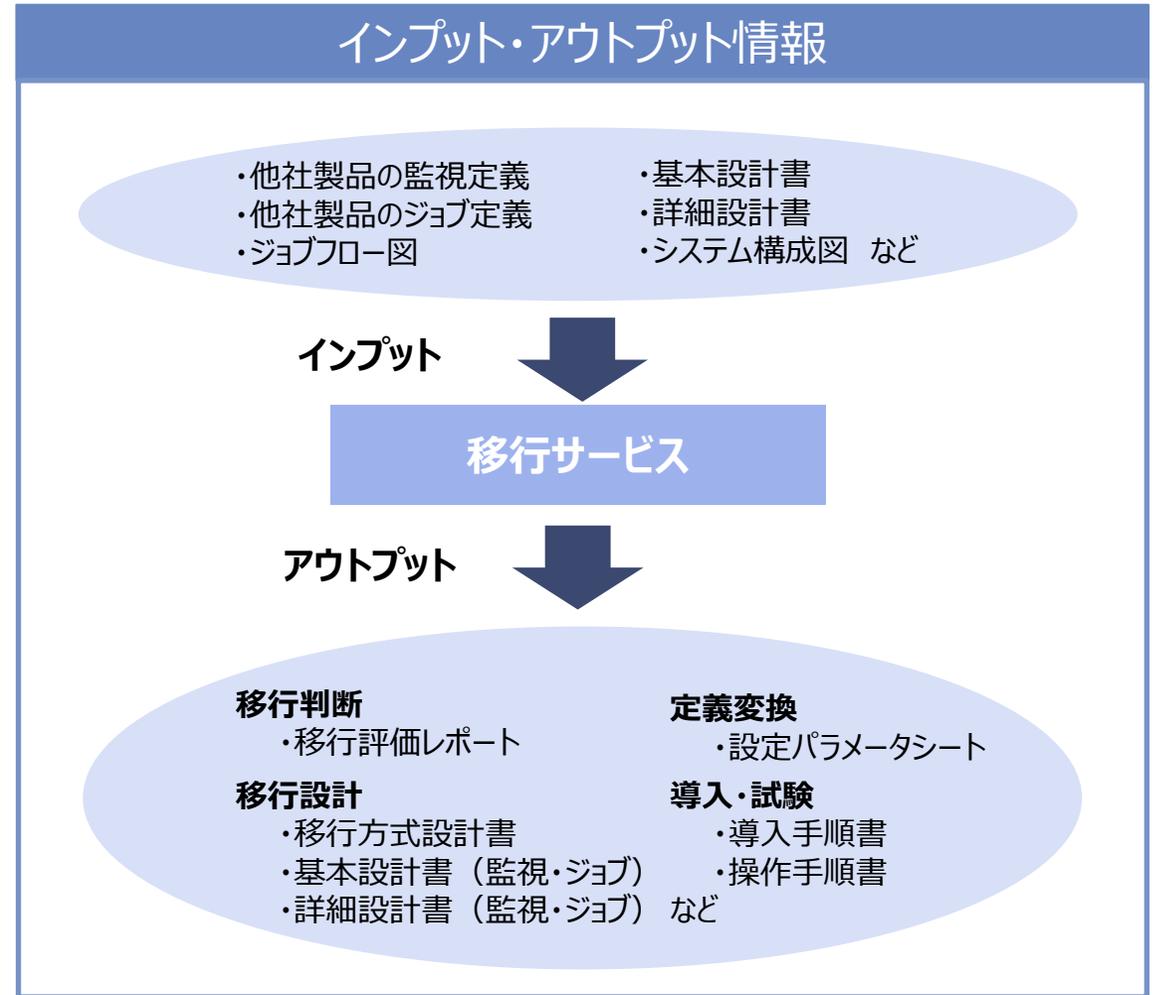
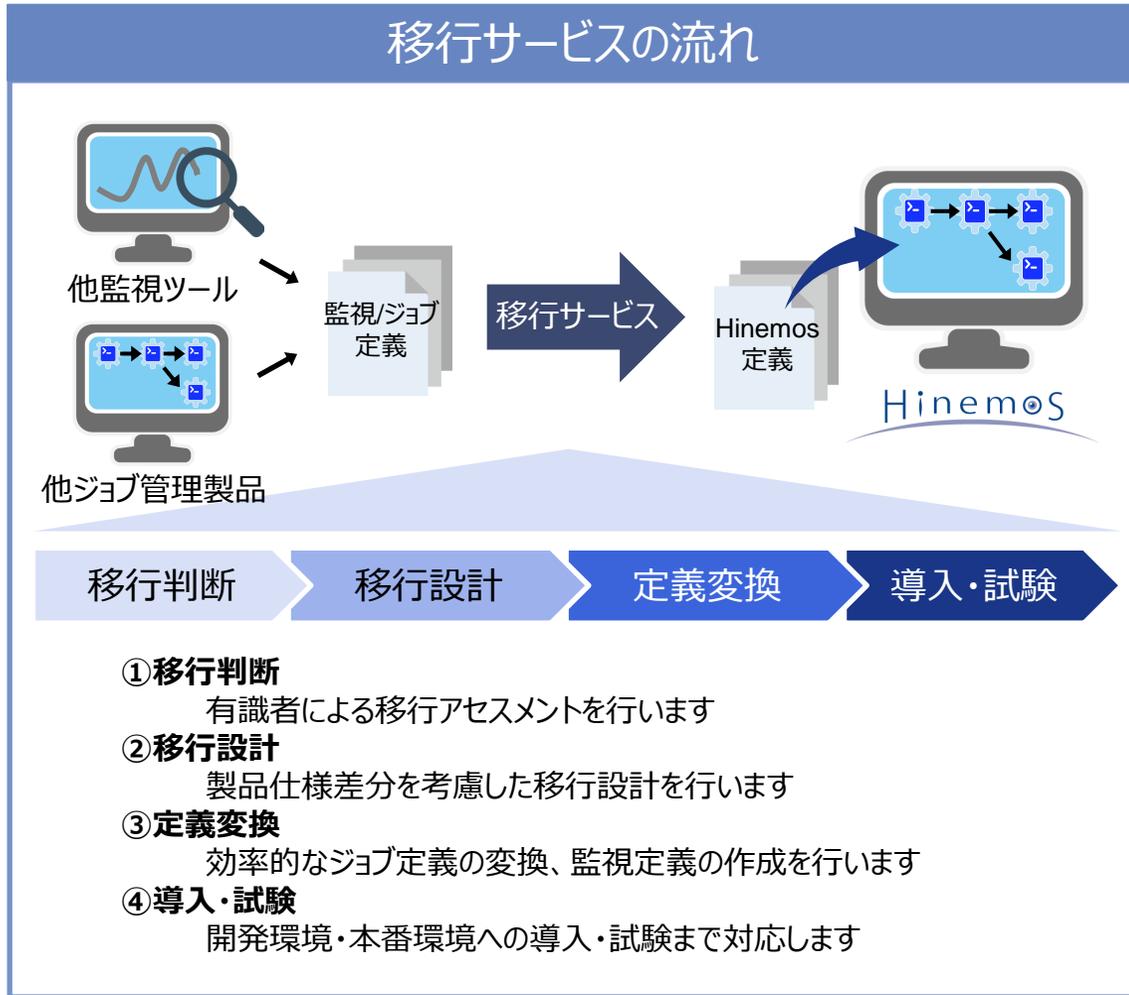
# 02

## 他製品からの移行サービス



# 他製品からの移行サービス①

他社の運用管理ツールで実現していた監視・ジョブ運用をHinemos環境に移行



既にお使いの製品から安心・安全にHinemosに乗り換えが可能

# 他製品からの移行サービス②

移行サービスを利用するメリットと採用ポイント

Hinemosのプロが移行支援



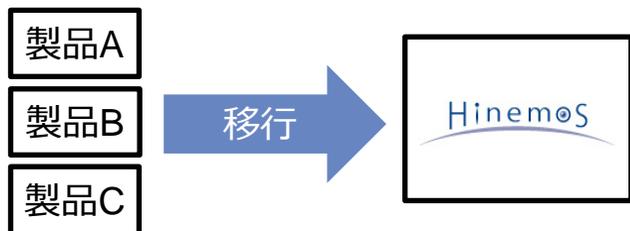
運用管理のトータルコスト削減



Hinemosに最適化



様々な製品移行に対応



部分的な工程だけでも利用可能



運用手順の移行までフォロー



既にご利用中のプロジェクトの状況に合わせて利用が可能

# 移行サービスの流れ – ①移行判断



## Hinemos有識者による移行アセスメント



### 実施内容

- 現行システムのジョブ定義や設計情報から、Hinemosへの移行可否(○/△/×)を評価

### メリット

- そのまま移行できる機能、置き換えが必要な機能の特定
- 移行工数や費用の見積もり材料

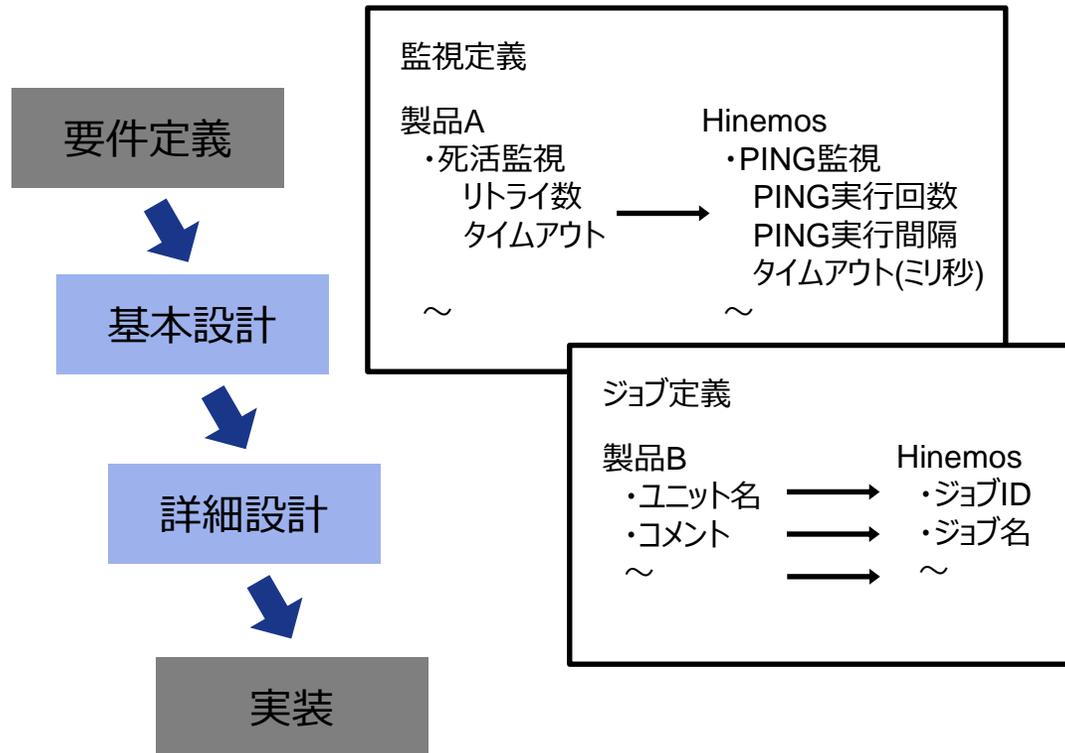
### アウトプット

- 移行評価レポート

# 移行サービスの流れ – ②移行設計



製品仕様差分を考慮した移行方式の検討支援、基本設計・詳細設計



## 実施内容

- ・ 現行システムでどのように運用管理しているかを確認し、製品の仕様差分を考慮したHinemosへの移行方式の設計

## メリット

- ・ 現行システムの監視やジョブと同等の品質を維持
- ・ 定義の見直し、最適化

## アウトプット

- ・ 移行方式設計書
- ・ 基本/詳細設計書（監視/ジョブ）

# 移行サービスの流れ – ③定義変換



ジョブ定義の変換、監視定義の作成



## 実施内容

- 移行方式に従い、現行システムのジョブ定義をHinemosの定義に変換、監視定義の作成

## メリット

- 移行作業にかかる工数、コストの削減
- 正確な定義変換

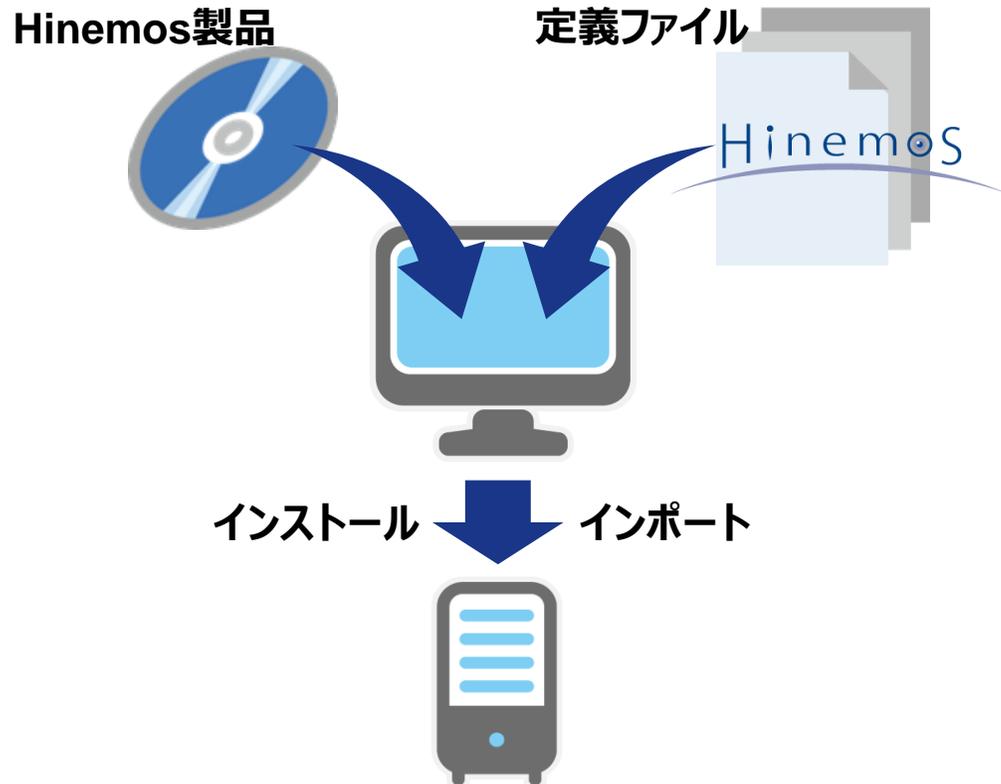
## アウトプット

- 設定パラメータシート

# 移行サービスの流れ – ④導入・試験



開発環境や本番環境への導入・試験まで対応



## 実施内容

- Hinemos製品のインストール、定義情報のインポート
- 動作確認、試験フォロー
- Hinemosの操作手順作成

## メリット

- 適切な試験実施による、移行後の品質/安全性の確保

## アウトプット

- 導入手順書
- 操作手順書

# 移行サービスの実績

様々な製品からHinemosへ移行した実績を紹介

お客様	製品	ジョブ数	移行判断	移行設計	定義変換	導入・試験
KNT-CTホールディングス様	JP1	48,000		○	○	○
某省庁様	JP1	3,000		○	○	○
某省庁様	JP1	36,000	○			
某金融機関様	JP1	6,500	○	○	○	○
某金融機関様	Systemwalker	60,000		○		
某公共機関様	Systemwalker	9,800		○	○	
某証券会社様	SENJU	1,500		○	○	
某地方自治体様	TIVOLI	300		○	○	

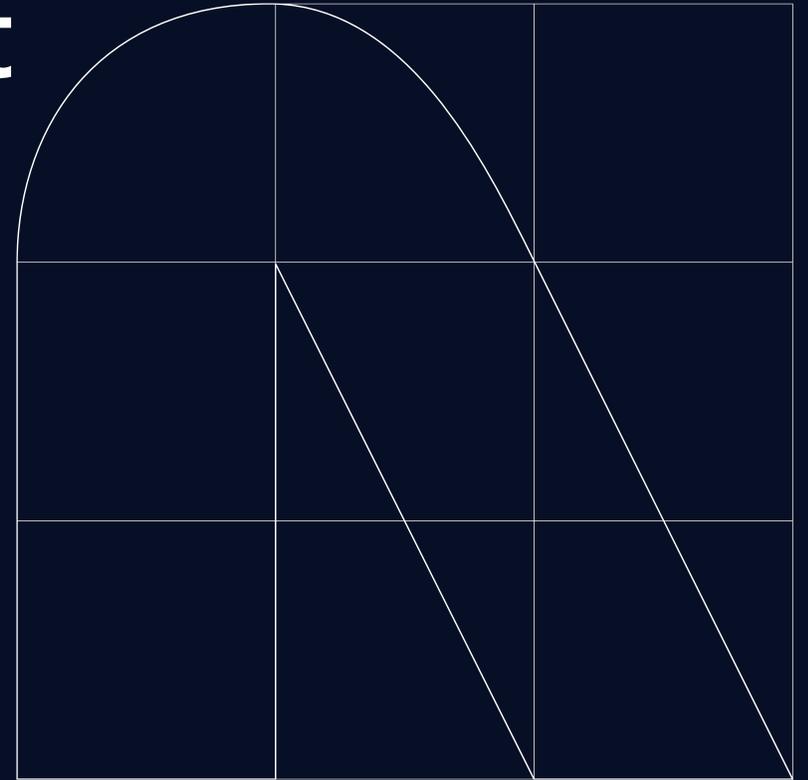
その他にも、多くのお客様にご利用いただいております

「JP1」は株式会社日立製作所の商品名称です。  
「Systemwalker」は富士通株式会社の登録商標です。  
「SENJU」は株式会社野村総合研究所の登録商標です。  
「TIVOLI」はInternational Business Machines Corporationの登録商標です。

多くのお客様が移行サービスを利用、全行程に限らず、一部工程でも可能

# 03

## Hinemos Migration Assistant (他製品からの移行支援ツール)



# Hinemos Migration Assistant（他製品からの移行支援ツール）の概要

他製品からHinemosに移行する際の定義の変換を支援

## 通常の製品移行

製品仕様を把握し、移行方式を検討して変換



## Hinemos Migration Assistantを利用

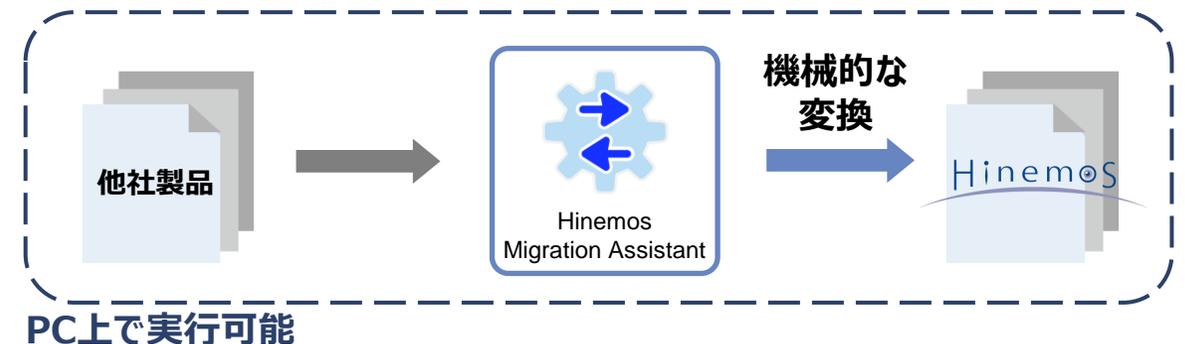
### 機械的な変換を実現

主要な定義を自動変換

+

ツールが出力する変換情報を確認

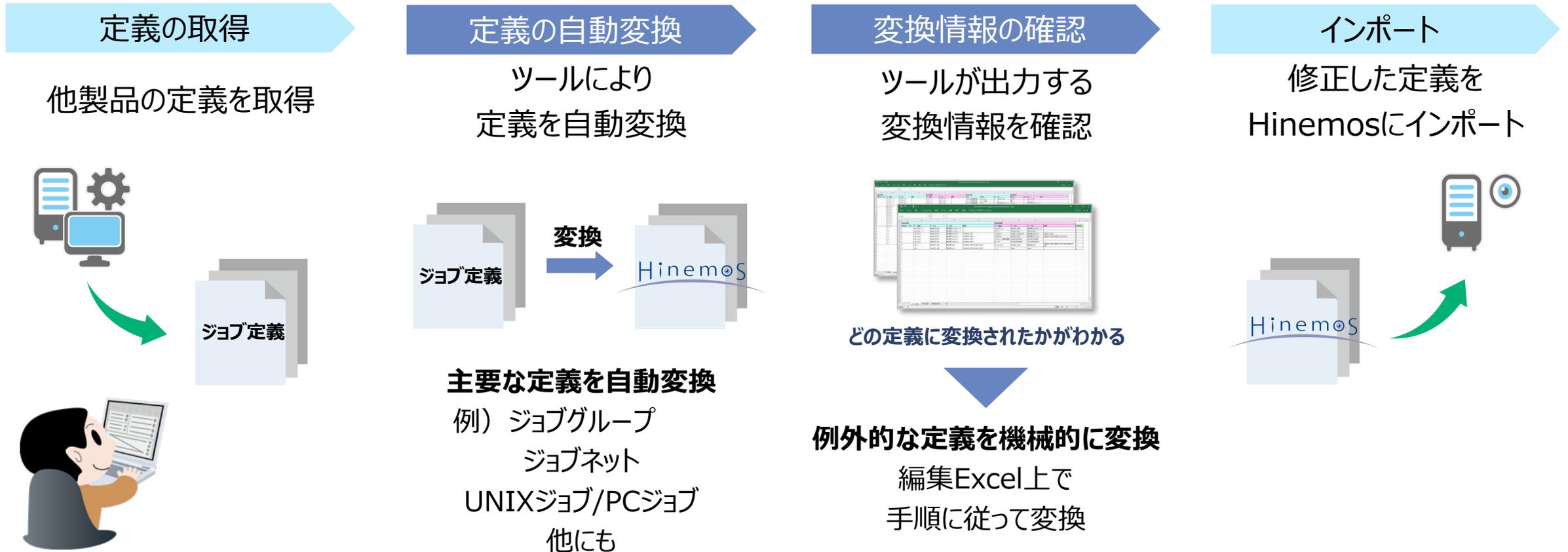
→ 例外的な定義も機械的な変換を支援



機械的な変換により検討にかかる工数を削減し、設計の品質を向上  
結果的に定義変換にかかるコストを削減

# Hinemos Migration Assistant（他製品からの移行支援ツール）の機能

他製品からの定義変換を支援する機能を提供



他製品の主要な定義に対応しているため、大部分の検討が不要  
例外的な定義はツールが出力する表で判別可能

# 変換対応製品・動作要件

以下の製品の定義の変換に対応、今後に対応製品を拡張予定

移行元製品	バージョン
JP1/Automatic Job Management System 3	Version 9 Version 10 Version 11 Version 12 Version 13



移行先製品	バージョン
Hinemos	ver.7.1

Hinemos Migration Assistant（他製品からの移行支援ツール）はWindows PC端末で実行可能

動作OS
Windows 10 Windows 11 Windows Server 2016 Windows Server 2019 Windows Server 2022

# 提供方法

本ツールはHinemos サブスクリプション Standard 以上をご契約のお客様が利用可能

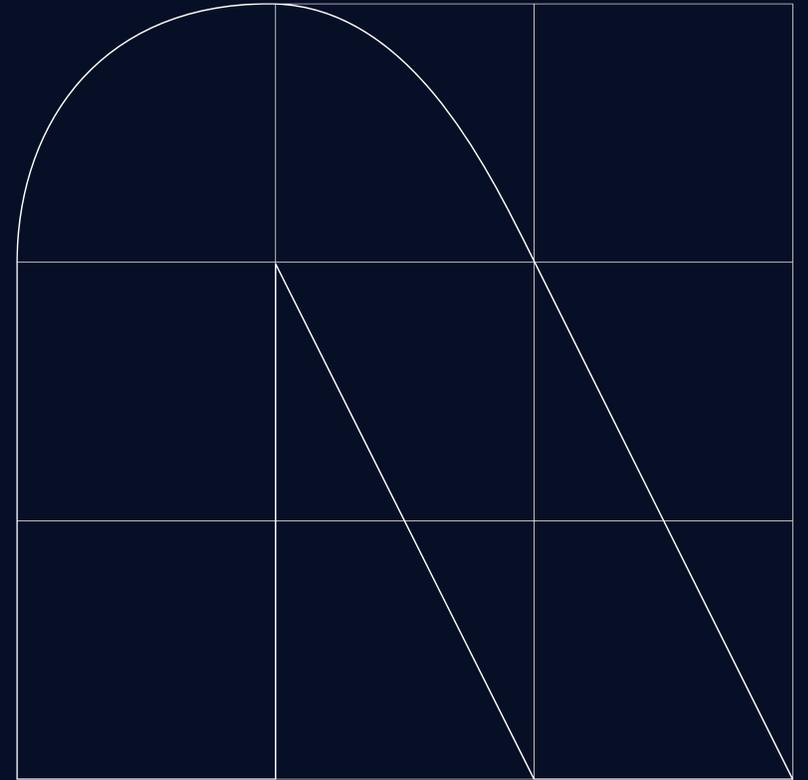
	Essential	Standard	Premium
Hinemosマネージャ/クライアント/エージェント	○	○	○
エンタープライズ機能	○	○	○
ユーティリティツール	○	○	○
Hinemos JRE	○	○	○
ナレッジ・ドキュメント	○	○	○
プロダクトサポート	○	○	○
契約管理	○	○	○
VM管理(VMware/Hyper-V)	-	○	○
クラウド管理(AWS/Azure/GCP/OCI)	-	○	○
<b>Hinemos Migration Assistant</b>		○	○
for スイッチ	-	○	○
Hinemosインシデントダッシュボード	-	-	○
Hinemosメッセージフィルタ	-	-	○
Hinemosトレーニングコース レクチャー型 (オンデマンド形式)	○	○	○
Hinemosトレーニングコース ハンズオン型 (ライブ配信形式)		○	○
カスタマーポータル登録ユーザ	6名	10名	20名

## 提供物

- ・ マニュアル
- ・ Hinemos Migration Assistant (他製品からの移行支援ツール)
- ・ スタートアップコンテンツ

# 04

## まとめ



# まとめ

## 1. 背景 運用管理製品の見直しタイミング

- 製品見直し時において、よくある4つの課題をHinemosでは解決できる
  - ①ライセンス体系：管理対象数・CPUコア数の変更でも**費用定額**
  - ②技術要件：ジョブ管理を**クラウド環境**で対応でき、**可用性構成**も組める
  - ③運用要件：**ワンパッケージ**で提供し、シンプルな運用管理を実現
  - ④移行コスト：**移行サービス**により、ジョブ定義と運用オペレーションの移行を、低コストで実現

## 2. 他製品からの移行サービス

- Hinemosでは、**移行サービスを提供**
- 既にお使いの製品から**安心・安全**にHinemosに乗り換えることができる
- 多くのお客様のシステムで**移行サービスの実績あり**

## 3. Hinemos Migration Assistant（他製品からの移行支援ツール）

- ツールを使用することで、より**効率的**に製品移行が可能
- Hinemos サブスクリプション **Standard 以上**をご契約のお客様が利用可能

移行するなら  
Hinemosもに！



**NTT DATA**